

株式会社セールスフォース・ジャパン 社会貢献委員会 STEM 教育チーム  
& コンピュータクラブハウス加賀（特定非営利活動法人みんなのコード）

■活動開始年月：2021年1月

■企業ボランティアの人数(実数)：144名

### ■Salesforce のボランティア活動

Salesforce では、就業時間の1%、株式の1%、製品の1%を社会に還元する『1-1-1モデル』のもと、社員は年間7日間のボランティア活動時間を利用してボランティアに取り組みます。社内の社会貢献委員会には約100名の社員が複数部門から参加し、関心のある社会課題ごとにチームを結成して、主体的にNPOと連携しながら活動を企画、運営します。社会貢献委員会STEM教育チーム(※)は、主にプログラミング教育の推進を中心としながら、子どもたちがテクノロジーの世界に触れる機会を届ける活動に取り組みます。2021年度には8名の社員がSTEM教育チームに所属し、コンピュータクラブハウス加賀と連携して地方の子どもたちの未来の可能性を広げる活動を実施しています。

※STEM教育(ステムきょういく)とは、“Science, Technology, Engineering and Mathematics”すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語である。2000年代に米国で始まった教育モデル。

### ■高校生の将来の可能性を広げるプログラム

まず、コンピュータクラブハウスは、子どもたちに対して創造的で安全な環境を提供することを使命に米国・ボストンからスタートした団体で、特定非営利活動法人みんなのコードと加賀市により、加賀に日本第一号のクラブハウスが開設されました(詳細は[こちら](#))。コンピュータクラブハウス加賀からの、「地方の教育現場において、よりテクノロジーやITの世界への関心を高め、子どもたちの将来の選択肢を広げたい」、また、「ジェンダーに偏らないプログラムを実現したい」というご要望をもとに、STEM教育チームは性別に関係なく、誰でも参加ができ、可能性を広げるための高校生対象のプログラムを提供することにしました。提供したプログラムは以下の3つで、144名の社員ボランティアが運営に協力し、50名以上の高校生に参加いただきました。



#### 1. メンタリング:

テクノロジーに関連した将来のキャリアプランだけでなく、日常生活での悩みについて社員と対話する機会を提供。技術職の社員だけでなく、あらゆる職種の社員が協力できるボランティアになりました。

【ブログ】<https://computer-clubhouse.jp/2021/07/02/cchnews-vol13/>

#### 2. エグゼクティブ・セッション:

Salesforceの代表取締役会長兼社長の小出と常務執行役員チーフ・マーケティング・オフィサーの鈴木が、キャリア開発の機会として、学生とのインタビューセッションを実施しました。

【ブログ】<https://computer-clubhouse.jp/2021/03/30/301700/>

#### 3. IT体験プログラム:

「文化祭」をテーマにホームページを作成するワークショップを実施。全ての教材とコンテンツは社員ボランティア自身がアイデアを出し合っから準備しました。

【ブログ】<https://computer-clubhouse.jp/2021/10/14/cchnews-vol16/>

## ■コンピュータクラブハウス加賀および参加者の皆様からのメッセージ

### ○末廣優太様(館長)

私たちのミッションは、創造的で安全な、学校外の学びの場を提供することです。学校だけでは支えきれない、地域の若者たちがテクノロジーを通して自身のアイデアを表現し、新しいスキルを身につけ、自信を持てるようサポートしています。加賀氏は小さく風光明媚な場所ですが、東京のような大都市と比べ、IT やテクノロジーなどの分野に触れ合う機会が少ないです。また、私たちは、IT 分野への女性の参加率を高めることも目標としています。特に、日本では女性の IT エンジニアは男性と比べて圧倒的に少なく、その傾向は加賀市のような都市においてより顕著です。こういった課題を解決するべくこれまで様々なワークショップをしてきましたが、Salesforce と組むことにより、その活動の幅がより広がりました。参加した学生からのコメントも届いていますので以下、ご紹介します。彼らは、第一世代、言うなれば、先駆者です。彼らの語る経験が、次の世代の未来を明るく照らしてくれると信じています。今後も Salesforce との取り組みを通じて、ただ加賀市に住んでいるからといって夢を諦めなければならぬ、そんな若者がいない環境を作っていきます。

### ○生徒の声(1)

「チーム内で課題を明確にし共有すること」この小出会長の言葉が、将来、世界で活躍するリーダーを目指す私にとって、とても学びの深いものでした。今後はこの学びを活かし、リーダーとしてプロジェクトを円滑に行いたいと思います。

### ○生徒の声(2)

僕にとって Salesforce とのメンタリングやワークショップなどの活動は、新しい自分に気付いたり、挑戦のきっかけをいただいたり、学校や家では話せないような悩みを話すことのできる貴重な機会です。オンラインだからこそできるこの貴重な機会を、僕はもっともっと活かしたいと思っています。



## ■加賀地域での今後の活動

最後に、STEM 教育チームは今後もこの活動を継続します。今後は、コンピュータクラブハウス加賀が重視する起業家精神を育むことを目的に、加賀の子どもたち自身がクラブハウスのあり方や運営に提言を行う取り組みへの支援を予定しています。

私たちは、若者が地方でも世界に通用するテクノロジーの知識やスキルを持って地方で活躍できる選択肢を増やし、地域社会に貢献します。